

令和3年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく改善報告書

【通信教育部】

1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和4年3月9日	CHAmmit参加者及び関連教職員の7名がZoomを使用して、学部提案書について1時間30分程度、実現に向けて意見を共有した。

2 学部提案書の対応について

① 昨年度報告書の状況

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
オンデマンド授業の配信スケジュールを全授業で統一してほしい		○		授業配信の開始時間は統一できているが、期間は授業内容により異なります。現状では、学修効果を優先して担当教員に一任しています。
各種情報発信や各種手続締切等のリマインドをしてほしい		○		ポータルサイトでの学生に対する開示方法については、時間的に余裕をもった開示、より分かりやすい表現及び掲載方法の工夫を行い、より丁寧な発信ができるよう対応していきます。 ポータルサイト等のシステム改修が必要になる可能性がある部分につきましては、関係部署と連携して検討していきます。

② 新たな課題

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
複数の学修方法が選択可能な通信教育部では、各種申込や、その締切日も重複しており、ただでさえ学生は学修スケジュールの調整に苦慮している中で、新型コロナウイルス等の感染状況により、学修方法にイレギュラーな変更が多々発生し、大学から周知される情報も増え、通知を確認する作業自体も大きな負担となっている。		○		授業実施方法等が変更になった場合には、学生のみなさんが変更後のスケジュールに余裕をもって対応できるように、ポータルサイトへのお知らせ掲載等の手続きを今まで以上に速やかに実施するよう、手続き方法の見直しも含めて対応していきます。
コロナ禍の影響で、既存の学修方法（対面授業・試験、大学で友人と集まり一緒に勉強）の実施が難しくなり、一部オンライン・オンデマンド化されたが、まだ十分とは言えない。通信教育部に集まる多様な経歴を持った学生のニーズに対応できるよう、学修方法のオンライン化などを推進してほしい。		○		学修方法のオンライン化については、新しいLMS(学習管理システム)を導入するためのワーキンググループ内で、現在検討を続けていますが、速やかに決定し対応することは難しい状況です。学生により抱える事情やおかれた環境が様々であることを踏まえ、現在の学修方法で可能な限り対応できるよう検討します。

③ 「IT化と大学教育」へ向けての提案について

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
学修に関する情報をとにかく早く出してほしい。詳細は後日になってもよいので、情報がいつ、どのような形で周知されるか等、情報発信のスケジュール等の目安になる連絡がほしい。		○		教職員で連携を取り、情報発信の時間的な目安等を含めて、早めに通知できるように検討していきます。ポータルサイト掲載内容についても、より見やすく、理解しやすい内容となるよう、随時見直しを図っていきます。
全国に設置されている学習センターは場所や開催日時が限定されているため、より多くの学生が利用できるオンライン版を作してほしい。 学生と先生などの1対1ではなく、学生同士の交流の場をオンライン上で設けてほしい。		○		学習センターのオンライン版については今後の検討が必要になるので、オンライン相談を実施している学修支援センターと連携を取り、相談窓口の枠を少しでも増やせないかを検討していきます。オンライン上で学生同士の交流の場を設けることについても、検討が必要になりますので、関連部署と連携し対応していきます。
レポートを手書きの郵送から、他大学や他学部と同様に、web上で作成・提出できるようにしてほしい。必要であれば学生もワーキンググループを組織し検討する。		○		レポートの手書きで作成・郵送による提出を、web上での作成・提出及び科目修得試験のオンライン化については、新しいLMS(学習管理システム)を導入するためのワーキンググループ内で、現在検討を続けています。学生の皆さんの意見を取り入れ検討していく案についても、今後のワーキンググループにて報告し検討します。

※①～③については、令和4年4月1日現在の対応内容となっており、今後の状況によって変更する可能性があります。

3 通信教育部から学生へのメッセージ

対面授業がオンラインやオンデマンド授業に代わり、より良い授業が提供できるようこれまでも改善を重ねてきました。これからも新システムの導入など改善を予定しています。通信教育部では、スクーリング授業の他に通信授業やメディア授業もあります。安全・安心を第一に考え、多くの選択肢の中から自分にあった授業形態を選択してください。
--